



AGC Inc. 30th July 2024

AGCのライフサイエンス事業の主な強み



- 1970年代からバイオ関連事業研究・開発を開始、2010年代に本格的にCDMO*事業を拡大
- 商用を含め実績豊富な欧米CDMOや製薬会社工場を買収し、グローバルな統合を完了

1. 日米欧3極・10拠点で統合された 高水準のサービス提供

高度なcGMP体制を構築。どの地域からも 同様に高水準な開発・製造サービスを、幅 広いモダリティで提供



2. 豊富な製造・査察実績

長年の事業経験をもとに、豊富な製造・査察 実績を重ね、お客様からの信頼を獲得

		#国 食品医薬品局	EMA 欧州 医薬品庁	PMDA 医薬品医療機器 総合機構
合	日本(千葉)	•		•
合成	スペイン	•	•	•
	米国	•	•	•
	デンマーク	•	•	•
バイオ	ドイツ	•	•	•
7	イタリア	•	•	
	日本(千葉)			•

最新鋭・最大級のCDMO拠点を日本に構築



- これまでのグローバルでの実績を結集し、国内CDMOとして最大級の施設*を横浜市に建設中
- 経産省「デュアルユース補助金」に採択 (2025年より順次サービスを開始)



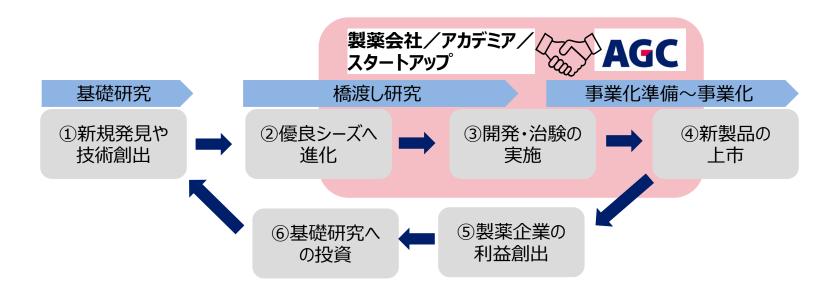




「創薬エコシステム」におけるAGCの役割



■ CDMOとして、世界で競争力を有する「日本の創薬エコシステム」構築・強化に貢献



新規モダリティの研究段階から、製法の確立支援

グローバル展開や事業化を見 据えた薬事・技術面の支援 海外人材も有効活用した、 バイオ開発・製造人材の育成

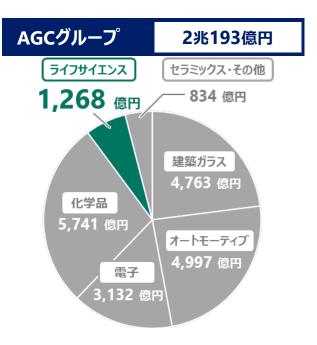


Appendix

ライフサイエンス事業の概要



2023年 売上高 (億円)



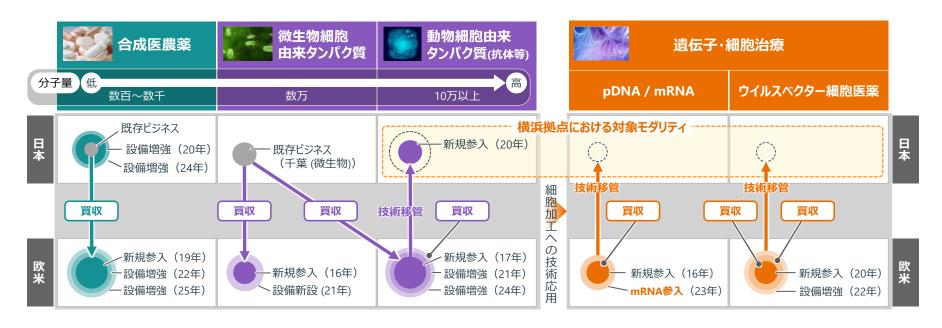
ライフサイエンス事業の主な事業内容・売上高構成比(2023年)

事業分野	事業分野 サービス概要	
バイオ医薬品 CDMO	■ バイオ医薬品の開発製造受託 (微生物、動物細胞由来のタンパク質・ 抗体医薬品、遺伝子・細胞治療、 pDNA、mRNA、エクソソーム)	■ 約7割
合成 医薬品·農薬 CDMO	■ 合成医薬品の開発製造受託■ 農薬の開発製造受託	■ 約3割

製造開発技術の広がり



- 2016年のバイオミーバ社買収以降、積極的な設備投資やM&Aにより 地域および技術分野を拡大し、医薬品CDMOとしての事業基盤を構築
- その基盤を基に先進的な遺伝子・細胞治療分野でも事業を強化・拡大中



予測に関する注意事項:

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を 勧誘するものではありません。本資料(業績計画を含む)は、現時 点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものであ りますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性 に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

